

# やながわ

2023年(令和5年)11月1日 第66号

議会だより



藤吉校区モルック大会

## 9月定例会

定例会のあらまし・決算	2
補正予算・条例等	4
議決結果	5
やながわのここが聞きたい!	6
柳川の子どもたち・編集後記	16

三橋中2年  
たかだ あゆみ  
高田 歩未さん

表紙の「やながわ」  
私が書きました!





## 9月定例会のあらまし

会期

8月29日～9月19日

(22日間)

9月定例会では次のことが決まりました。決算や補正予算、議案等の主なものについて紹介します。

提出議案総数・・・11件

【議案内訳】

予算案・・・1件

決算案・・・6件

条例案・・・1件

その他・・・3件

※議案の一覧は、5ページに  
記載しています。

8月29日

開会。令和4年度決算案など、9件の市長提出議案を上程。

8月31日

議案質疑。所管の常任委員会、決算審査特別委員会に審査を付託。

9月4日・5日

9人の議員が市政について一般質問。

9月7日・8日

各委員会で付託議案等を審査。

9月11日・12日

決算審査特別委員会で令和4年度決算（一般会計）を審査。

9月19日

閉会。議案、決議等を採決。

## 決算

令和4年度の一般会計について決算審査特別委員会で審査が行われました。特別会計及び水道・下水道事業会計については各所管委員会での審査の後、本会議で採決が行われ、全て認定されました。



### 一般会計歳入歳出決算額

(千円)

歳入総額	349億119万5千円
歳出総額	336億6,776万9千円
歳入歳出差引額	12億3,342万6千円
翌年度へ繰り越すべき財源	1億3,487万3千円
<b>実質収支額</b>	<b>10億9,855万3千円</b>





## 決算審査特別委員会

## 主な質疑

### 歳入質疑

**問** 個人市民税が減少している理由として、営業所得の減少が原因とあるが詳しく説明を。

**答** 営業所得の減少は、海苔の減少が一番の理由である。令和3年産の水揚げは、約43億円程度減少している。

### 歳出質疑

**問** ある地域では消防義援金とかがあり、住民からは疑問視する声もあるが。

**答** 消防義援金は好ましくないと消防団への指導や行政区長への説明をしている。

**問** 出会い応援事業で14組マッチングしているが、結婚に至ったのは何組か。

**答** アンケート調査によると、令和4年度実施分では、4組が良好な関係を継続中ということであったが、成婚までは至っていない。

**問** 児童虐待の相談内容及びその対応は。

**答** 192件の相談内容の内訳は、身体的な虐待が33件、性的虐待が2件、心理的虐待が117件、ネグレクトが40件。まずは話をしっかり聞き、どのような対応が適切であるかを係の中で協議をして決めている。相談窓口は様々だが、児童相談所や発達障害に関する専門の窓口などに繋ぐこともある。

**問** 不妊治療対策費で、31組43件の方が不妊治療を受けて、どれだけの方が子供を授けられたのか。

**答** 31組のうち、5組の方が出産に繋がっている。

**問** 違反の農地転用についてどのような使われ方をしているか、把握の方法と方針は。

**答** 違反転用の用途は、資材置き場というような類での使われ方が多い。農地パトロールで毎年状況を確認しつつ対応している。

**問** 新規創業者支援事業補助金で、タイミングが合わずセミナーを受けずにオープンすると補助金を受けられないという点や、違う商売をしたい場合に補助を受けられない点は改善できないか。条件の緩和や広報の充実を。

**答** 新規創業者が対象のため、業種変更等は該当しない要綱となっている。補助条件は、オープンまでにセミナーを受けてもらう運用をしているが、様々な意見を聞きたい。制度の広報は行っているが、商工会議所・商工会と一緒に広報を行い、周知強化を図りたい。

**問** 業務委託料及び植木剪定・除草業務委託料はどこと契約しているか。

**答** 清掃業務委託料は、むつごろう会とシルバー人材センターに委託。植木剪定・除草はむつごろう会と造園会社に委託している。

**問** 建設課として、大雨対策は今後どのように考えているか。

**答** 近年の豪雨に対しては、従来どおりの河川改修だけでは対応できないため、流域全体が協働して対策を進める流域治水の取り組みを推進している。また、水路課で実施している先行排水を効果的に進めるとともに、建設課では河川の浚渫を積極的に国県へ要望するなど連携した取り組みを進めている。

**問** 白秋生家へは多数の入場者がいるが、旧戸島家住宅には行かれていない状況だが。

**答** 白秋生家の入場券を持たれていない場合に、チケットを見せることで旧戸島家住宅にも無償で入場できる形をとっている。今後白秋生家の入館者に対し、旧戸島家住宅の案内を図っていききたい。

### 総括質疑

**意見** スマートシティ・コンパクトシティを形成していく中で行政内部の横の連携をしっかりとってもらいたい。

○賛成討論（1人）





## 補正予算の主なもの

### 一般会計補正予算（第3号）

9億7,440万6,000円



#### 新型コロナウイルスワクチン接種

8,625万6,000円

令和5年9月からの秋開始接種の新型コロナウイルスワクチン接種に必要な経費

○対象者

生後6か月以上のすべての市民

#### 藩札で経済活性化

1億611万9,000円

物価高騰対策として、全世帯へ商品券「柳川藩札」を郵送します。

○対象

令和5年9月1日時点で柳川市に住民登録がある世帯の世帯主

○交付する柳川藩札

1世帯あたり一律3,000円

#### 新規起業・創業を支援

1,800万円

市と地域金融機関等で連携しながら、事業化段階で必要となる初期投資費用を補助し、地域資源を生かした先進的で持続可能な事業化の取り組みを促進し、地域経済循環を創造します。

○対象 (株) Soil

○内容

あまおうを活用した事業  
(カフェ、イチゴ栽培ハウス  
3棟)

○事業費

3,600万円(1,800万円が融資、自己資金。残り  
1,800万円のうち、国から  
1,200万円、特別交付税  
300万円)で市の実質負担は  
300万円)



## 条例の一部改正



柳川市火災予防条例の一部を改正する条例の制定

省令等の改正により、蓄電池設備と固体燃料を使用する火気設備等の基準の見直しが行われたため、条例の一部を改正。

令和6年1月1日施行

## 意見書



◆要旨

令和5年6月2日に成立した改正マイナンバー法により、政府は今の健康保険証を令和6年秋に廃止することを決定。高齢者や障がい者をはじめマイナンバーカードを持たない・持てない人は無保険扱いになる可能性があり、現行健康保険証の存続を求める声が上がっている。また、「マイナンバー保険証」については、他人の情報が紐づけられていた事例等のトラブルがおきていることから、政府に対し「改正マイナンバー法」によ

る現行「健康保険証」廃止について再度慎重に審議し、延期や撤回を含めた見直しを要望する。

◆結果

本会議において賛成多数で可決。柳川市議会として国へ意見書を提出。

## 決議



「佐賀空港へのオスプレイ等の配備後の柳川市への影響に関する調査特別委員会」の設置に関する決議

9日19日定例会最終日に議員より決議が提出。内容は、佐賀空港へ実際にオスプレイ等が配備された後の安全性や騒音、農業や観光業への影響の有無、実際に被害等が生じた場合の補償や賠償、国からの支援や課題等を調査研究するというもの。他議員より特別委の名称が配備受け入れを表明したかのように市民に誤解を与えるなどとして修正動議が出されたが、賛成少数で否決。その後、原案が賛成多数で可決された。





## 賛成全員で可決・認定した議案

- 議案第54号 令和4年度柳川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- 議案第55号 令和4年度柳川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- 議案第56号 令和4年度柳川市公共用地先行取得等特別会計歳入歳出決算の認定
- 議案第57号 令和4年度柳川市水道事業会計決算の認定
- 議案第58号 令和4年度柳川市下水道事業会計決算の認定
- 議案第60号 柳川市火災予防条例の一部を改正する条例の制定
- 議案第61号 市道路線の認定

## 賛否の分かれた議案・決議

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	菊次太丸 (公)	梶島正吾	甲木健太郎 (自)	三小田保弘 (自)	田中康徳 (自)	橋本憲之 (自)	佐藤勝広	今村智子 (公)	浦川和久 (自)	新谷信次郎	江口義明 (自)	荒巻英樹 (自)	佐々木創主 (自)	荒木憲 (自)	高田千壽輝	矢ヶ部広巳	緒方寿光	樽見哲也	近藤末治 (自)
第53号 令和4年度柳川市一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	※
第59号 令和5年度柳川市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
第62号 現行「健康保険証」廃止の見直しを求める意見書	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
決議	「佐賀空港へのオスプレイ等の配備後の柳川市への影響に関する調査特別委員会」の設置に対する修正動議	●	○	●	○	●	●	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○
	「佐賀空港へのオスプレイ等の配備後の柳川市への影響に関する調査特別委員会」の設置に関する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	●	●	●	○	※

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

[会派] (自): 自由民主党柳川市議団、(公): 公明党

### 次回定例会の日程(予定)

11月29日(水)	開会・提案理由の説明
12月1日(金)	議案質疑
12月5日(火)~7日(木)	一般質問
12月8日(金)・11日(月)	委員会
12月14日(木)	採決・閉会

- 委員名
- 荒木憲(委員長)
- 菊次太丸(副委員長)
- 梶島正吾 甲木健太郎
- 三小田保弘 田中康徳
- 橋本憲之 佐藤勝広
- 今村智子 浦川和久
- 江口義明 荒巻英樹
- 佐々木創主

た。特別委員会」が設置され、13人の委員が選任されました。

### 特別委員会





# やながわのここが聞きたい!

議会HPから録画映像をご覧になれます。『柳川市 議会中継』で検索

質問者氏名	質問事項	掲載ページ	QRコード
椛島 正吾	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 河川のゴミ問題について</li> <li>2. 学童利用者数と今後は</li> <li>3. 空き家対策について</li> <li>4. ひとり親家庭支援について</li> </ol>	p7	
今村 智子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 熱中症対策について</li> <li>2. 花と緑のまちづくり</li> <li>3. 市民の手続き時間の削減にむけて</li> </ol>	p8	
橋本 憲之	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市職員の待遇について</li> <li>2. 小中学校統廃合について</li> </ol>	p9	
荒巻 英樹	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自転車と人に優しいまちに</li> <li>2. 学校給食について</li> </ol>	p10	
新谷信次郎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学童保育について</li> <li>2. 蒲池地区のクリークについて</li> <li>3. 相続登記の義務化について</li> </ol>	p11	
矢ヶ部広巳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ひとり暮らしの異状に気付いたら</li> <li>2. 西鉄柳川駅に東口西口の表示を</li> <li>3. 新規採用者の辞退状況は</li> <li>4. マイナンバーカードのトラブルは</li> <li>5. 開店支援の補助金を受けるには</li> </ol>	p12	
田中 康德	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 7月豪雨被害について</li> <li>2. 7月豪雨による大量のゴミ流出について</li> <li>3. 海苔養殖と日向神ダムの関係は</li> </ol>	p13	
緒方 寿光	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行財政改革の取組み状況と実績、並びに方針は</li> <li>2. 市内で最も危険とされる横橋交差点に信号機の設置等は</li> <li>3. 釣り人のマナー対策はいかに</li> </ol>	p14	
三小田保弘	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般競争入札について</li> </ol>	p15	

文字数の制限により質問内容すべてを掲載できないため、インターネットの録画映像もご覧ください





# 一般質問



## 河川ゴミと子育て世代問題



梶島 正吾

### 問

市の基幹産業、漁業の根本を支えている河川のゴミ問題だが大雨の際、上流より大量のゴミが押し寄せ係留された漁船に掛かったり、プロペラやシャフトの損傷事例も出ている。最悪の場合プラスチックの船体に穴が開き命の危険にも繋がる。漁港にも車で乗り入れられない程ゴミが堆積し漁業者のみならず近隣住人が抱える大きな問題。市の対策として河川上流の市町村と連携し解決していくことは出来ないか。

### 答

水産振興課長

7月豪雨では上流より大量のゴミ、大木が漂着・漂流したが漁連や漁業者の協力を頂き回収を行い現在は少ない状況にある。国や県、漁業者、地元住民と協力し清掃や啓発活動に取り組んできた。今後も河川上流の市町村と連携し流出抑止に努める。



沖端川に漂着した大量のごみ

## 学童問題

### 問

健全な児童が特に検査をせずに特性を持つ児童と診断され、この先の未来を失っていくかもしれない。これが事実ならば大変由々しき問題である。ぜひこの件を精査してもらいたい。

### 答

子育て支援課長

税金で賄う『加配補助額』が気になるが補助額はいくらか。  
現在762名中加配職員が必要とされる児童は43名。検査方法は保護者や学校・学童ではなく客観的事実や資料に基づいて判断している。令和4年度市内学童の児童35名に対し職員配置費用は2,913万8,340円となっており加配の本来の目的は健やかな育成支援と学童の時間をより良く過ごすサポートする支援、事実と反する判断が行われているのであれば早急に事実確認を行う必要がある。

### 問

支援員はかなり多忙で大変だと聞いたが統廃合を機に民間委託なども考えては。

### 答

子育て支援課長

支援員はできる限り継続をお願いする。事務を行う職員に対する補助金の加算もあり今後待遇改善の検討も課題として取り組む。

## ひとり親家庭支援

### 問

ひとり親家庭への支援、就業支援は。

### 答

子育て支援課長

現在の主な支援や取り組みに加え、高卒認定試験補助・養育費保証契約締結の保証料補助などを新たに行い相談者の選択肢を増やす為、関連部署との連携も深めていく。







# 地球沸騰化の時代が到来



今村 智子

## 熱中症対策は

**問** 本市の熱中症による救急搬送状況は。

**答** 消防署長  
今夏、熱中症で搬送された方は8月31日現在で57人。年齢区分は65歳以上が37人で全体の約65%を占め、18歳未満が5人、7歳未満は0人である。

**問** 熱中症予防対策として、市内に熱中症避難所等の休憩できる「涼み所スポット」が必要と考えるが市の見解は。

**答** 健康づくり課長  
特に避難所等は設置していないが、市の管理する公共施設等の中には常時過ごしやすい温度に設定されている所もあるので気軽に利用していただきたい。

**答** 観光課長  
既存の施設を「涼み所スポット」として活用できるか、また民間施設等にもお願いできないものか調査していく。



## 花と緑のまちづくり

**問** 大型複合遊具のある柳川むつごろうランドは、「日陰が少ない」との声がある。一年中遊べるよう、各所に植樹で木陰をつくる等、更なる緑化整備の推進を。

**答** 観光課長  
緑の多い公園となるよう整備を進めていく。

**問** 市民会館跡地の増築庁舎周辺整備、西鉄柳川駅周辺整備の植樹・緑化事業の推進計画は。

**答** 都市計画課長  
市民会館跡地はまだ決定しておらず、今後協議が行われる。西鉄柳川駅周辺整備の緑化では新たに引き込む掘割沿いに「柳の木」を配備し、柳川らしさを演出し景観に配慮した整備を進めていく。

## 市民の手続き時間の削減は

**問** デジタル技術を活用した市民サービスは。

**答** DX推進課長  
コンビニや庁舎内に設置した自動交付機でマイナンバーカードを使って各種証明書（戸籍謄本・抄本は除く）が手数料100円で取得できる。（窓口交付は300円）

**問** 書かない手続きの導入を。

**答** DX推進課長  
マイナンバーカードを活用した業務は、窓口での手続きの省略や簡素化、スピードアップにつなげることが可能になるため、本市は国の推進事業と市業務が円滑に連携できる態勢を整え、マイナンバーカードの利用促進や書かない手続きの実現に取り組んでいく。

**問** リモート相談窓口の導入は。

**答** DX推進課長  
住民のニーズや業務上の必要性の把握に努め、今後研究していく。



庁舎内にある自動交付機



# 学校再編も【まちづくり】



橋本 憲之

**問** 小中学校再編計画の進捗状況は。

**答** 学校再編推進室長

大和町地区の6小学校再編は、令和7年4月の開校を目指して協議を進めており、蒲池小学校・蒲池中学校を9年制の義務教育学校とする再編は、年内に再編協議会を設置し、令和8年4月の開校を目指している。

**問** 大和町地区の具体的な協議進捗状況は。

**答** 学校再編推進室長

大和町地区小学校再編協議会は、協議会の中に3つの部

会を組織し、総務部会では新しい学校の校名について、施設通学部会ではスクールバスの運行について、PTA部会では制服の選定について協議をしている。

**問** 協議会で出てきた具体的な課題は。

**答** 学校再編推進室長

通学時における安全対策と、校舎老朽化による改修が必要なこと。



大和町地区統合小学校が仮配置される予定の中島小学校

**問** 開校予定が1年半後と迫っており、具体的な案がなければ間に合わないのではと思うが、改修予算額とスケジュールは。

**答** 学校再編推進室長

現在、改修箇所等の確認を行っているっており、教室やトイレ改修、防水工事、昇降口の改修等、積算をし、12月議会補正予算にて中島小学校の改修工事設計監理業務委託費をお願いする予定。施工期間は令和6年度中の工事完了を予定している。

**問** 再編計画の副産物として跡地利用の課題が出てくるが、具体案は出てきているのか。

**答** 企業誘致推進課長

具体案はまだ定まっていない。跡地の活用は、企業の誘致、地域コミュニティでの利用、分譲などが考えられるが、企業誘致の方向性が決まった跡地は、広く公募をおこない誘致に繋げていきたい。

**問** 跡地利用も企業誘致も、待っているだけではなく、皆で些細な情報でも提供し、少しでも可能性があれば積極的に動いてもらいたい。

柳川の持っているポテンシャルは、まだまだある。色んな知恵を、部署の垣根を越えて出し合い、もっともっと魅力を発信し続けていくことで、柳川に興味を抱いてもらい、実際に来てもらい、定住してもらい【まちづくり】への取組みをお願いする。





# 自転車と人に優しいまちに



荒巻 英樹

**問**

10月に有明海一周サイクリングが開催される。本市お薦めコースを選定整備し、観光マップ等に記載PRして、多くのサイクリストを呼び込むべきでは。

**答**

観光課長

現在モデルコースを造成中。まずはニーズの把握に努め、ルートを固めながら修正が簡易なデジタルマップ等を検討したい。

**問**

修理に必要な工具類や空気入れを備えたバイク・リペアステーションを設置すればさらに魅力的なコースになるのでは。

**答**

観光課長

安心を感じてもらえるルートづくりに重要だと考える。モデルコース造成の進捗に併せて調査する。



街なかのバイク・リペアステーション

**問**

本市の自転車事故数は。

**答**

総務課長

令和4年は28件で死亡事故はない。

**問**

城南町のスクランブル交差点で、歩行者用信号が青の時に自転車に乗って渡るのは大丈夫か。

**答**

総務課長

その時は信号機は赤となり、車両である自転車に乗って

の横断は出来ない。降りて手で押しながら渡る事になる。

**問**

自転車の右側通行を減らす為、公用車に「自転車は左側通行」のステッカーを貼って伝えるは。

**答**

総務課長

現状の啓発等を引続き行い、新たな取組みは今後検討したい。

## 今後の学校給食は

**問**

共同調理場3施設の現状は。

**答**

学校教育課長

柳川は16年目、大和は18年目、三橋は27年目。各調理場2,000食ずつ調理できる設計だが、現在1クラスあたりの人数が少なく、調理物を詰める食缶の数が多くなっていて、食数に見合った稼働はできていない。

**問**

現在の供給数と将来の予測は。

**答**

学校教育課長

本年5月現在小学校が3,487人分、中学校は1,755人分、合わせて5,242人

分を提供。小学生は令和10年には約500人減少し、中学生は令和16年に380人程減少する見込み。

**問**

三橋調理場が耐用年数を迎えた後は、自校式は残しながら共同調理場を2施設にするべきは。

**答**

学校教育課長

自校式の方がいいという声をよく聞く。配送の時間が無い分、出来立てに近い提供が可能。しかし、現在の基準で給食室を新設すると、下処理や調理で区画を分けたり、調理員用のトイレや更衣室等かなりの面積や設備が必要。児童数の多い学校を広い敷地で新設する場合であれば、自校式を取り入れるのは難しい。



調理の様が見られる自校式の給食





蒲池地区のクリークは



新谷 信次郎

問

蒲池地区では入込（いりこみ）水路で護岸が崩れている箇所が多く見受けられる。水路課としての対応は。

答

水路課長

福岡県を実施主体とした集落基盤整備事業や柳川市を実施主体として行う農村環境整備事業、緊急自然災害防止対策事業など国、県の補助事業や起債事業を活用した水路整備事業により、幹線水路の整備が進んできた。今後は入込水路の整備についても順次進めていく必要がある。



蒲池地区 入込水路護岸崩れ

問

入込水路の護岸が崩れ、トラクターやコンバインといった大型機械を使うことが危険である。入込水路は個別区間としての護岸工事ではなく、いくつかの入込水路を含む地区一帯の護岸工事として対応できないか。蒲池地区高島、鹿島、三橋地区磯島等では一定地区で一斉に護岸工事が行われていないか。

答

水路課長

この3地区については福岡県が事業主体となり実施した集落基盤整備事業の柳川2期地区32路線の3路線。この事業は路線としての整備を目的としているため、幹線水路を対象として整備が行われた。今後は全体の優先順位を考慮しながら入込水路についても順次整備を進めていく必要がある。



三橋町磯島地区護岸工事

問

三橋町又四郎地区では令和5年6月30日～7月1日の豪雨のため水路既設護岸が崩壊した。近年の豪雨の影響による護岸の崩壊等の被害はどうか。

答

水路課長

護岸等の崩壊は様々な要因が考えられるが、豪雨の影響も十分考えられる。指摘のあった護岸は雨量が短時間に降り注ぎ、田面の排水能力を上回ったため、既設護岸に想定していない荷重がかかったこと、また、水路の排水作業による前面水位の急激な低下など、複合的な要因で倒壊したものと考ええる。

問

柳川地区の900キロを超える水路は、近年よく言われる「田んぼダム」の機能を持つ「掘割ダム」と言ってもよくはないか。その機能は矢部川、沖端川、花宗川上流地区の治水にも大いに役立っていないか。その貢献度を国や県にも積極的にアピールし、掘割の護岸工事を国、県の重要治水対策とし取り組んでほしい。





# 柳川駅に東口西口の表示を 都市計画課長 設置したい



矢ヶ部 広巳

**問** 道路側から見える所に東口西口の表示をすべきてはないのか。

**答** 都市計画課長  
現在進めている駅周辺整備により、人の動きも変わることから、分かりやすい位置に設置したい。



西鉄柳川駅西口

## 「もしや」と気付いたら

**問** 一人暮らしの異状に気付いた時の担当課はどこか。

**答** 保健福祉部長  
緊急時はためらうことなく消防や警察へ通報を。

**問** 「もしや」と気付かれた方が市へ相談されたところ、「いらん仕事を持って来て」と言わんばかりの対応だったとか。

**答** 保健福祉部長  
誠実さに欠け不適切な対応や不快な思いをさせ、申し訳なかった。

**問** 結果、残念なことになっていたではないか。

**答** 保健福祉部長  
お亡くなりになってから数日経過していたということだった。

**問** 相談をされた方への報告が全くなされていないが。

**答** 保健福祉部長  
保護すべき個人情報に配慮しながらお伝えすべきであったと、反省している。今後は、相談者への報告とご協力のお礼を徹底して行う。

## マイナンバーカードのトラブルは

**問** 2月文化センターへ確定申告に行かれた人からの苦情だ。還付金の申請をしたら「他に仕事は」「他に収入は」と身に覚えのないことを尋ねられ、不快な気持ちになった。

**答** 税務課長  
検索の際に誤って生年月日が同じ別の人の課税資料を開いてしまったためである。市民の方に不快な思いをさせお詫び申し上げる。二度とないように努める。

**問** 同姓同名だとか、生年月日が同じだとかで社会問題となっている。これもマイナンバーカードのトラブルのひとつか。

**答** 税務課長  
受け付けた職員の処理上のミスであり、マイナンバーカード関連のミスとは関係のないものである。

**問** 二度とこんなミスがないようにダブルチェックの検討を願う。



# 7月の大雨被害回避



田中 康徳

## 7月の大雨によるゴミの流出の経過と対応

**問** 7月の豪雨で大量のゴミが河川から有明海に流れ出した。対応はどのようにされたのか。

**答** **水産振興課長**  
7月の豪雨で大量のゴミ・大木が有明海に流れ出し、

**問** 7月の大雨で大きな被害が出た久留米地域、それに対して柳川地域では被害をまぬがれたが、対策はどのようにされたか。

**答** **水路課長**  
先行排水の動きとして、有明海の潮位や干潮時間・用水状況・降雨予測を基に検討し、各地区の水路委員の方をはじめ、樋門・樋管及び排水機場の操作人と情報を共有すると共に、市の方針を伝え、連携して排水作業を行った。



7月豪雨の漂着ゴミ

堤防に着岸したので、本市においては、施設管理者に依頼をし、市が管理する漁港のゴミ回収は8月1日に完了。また、海岸・河川の管理者である、国・福岡県により8月19日までに回収を完了した。  
今後、漁業者の協力・漁連と密に連携し、ゴミの迅速な回収に努める。

## 海苔養殖と日向神ダムの関係

**問** 11月の海苔の種付時、一番栄養を必要とする時期のダムからの水量が少ないのはなぜか。

**答** **水産振興課長**  
日向神ダムの役割の一つが発電用水であり、発電所の施設の秋季点検工事を11月上旬〜12月下旬にかけて実施する為、水量が少なくなる。

日向神ダムの管理者（福岡県）に、福岡有明海漁連と福岡県有明海沿岸4市で組織し、金子市長が会長を務める、福岡県有明海漁業振興対策協議会において、要望行動を行っている。  
福岡県知事がトップである県南総合開発促進会議や市長会などにも要請を引き続き行っていく。







# 危険な横橋交差点に信号を



緒方 寿光

**問**

この交差点は以前に地元中学生が交通事故により死亡し、これまでも頻繁に事故が発生し、市内で最も危険とされてきた。5年以上前から信号機設置の要望があがっていたことを認識されていたではないか。現在行われている交差点改良工事は今秋には完了予定だが、改良工事完了と同時に3灯式信号機を設置すべきではないか。

**答**

総務課長  
信号機の設置要望は交差点改良工事全体の中に含まれていたかと認識している。現時点

では信号機設置は必要ないと判断されているが、令和5年5月31日付で地元防犯協会や地元交通安全協会等の連名により柳川警察署長宛に県道高田柳川線横橋西側交差点改良に伴う信号機設置の要望書が提出されている。そこで横橋交差点改良工事の完成後に柳川警察署が信号機設置の検討を行うことになっている。

**答**

市長  
交差点の危険度はあると認識している。関係機関に対して信号機設置を要望したいと考えている。

**問**

横橋交差点西側に位置する幅員が狭く老朽化した「花梅橋」の改良工事の着手はいつか。

**答**

建設課長  
福岡県は新規事業化に向けて、令和6年度から関係機関との調査及び協議に着手するとの事である。本市としても早期の工事着手に向けて強く要望している。



早期の信号機設置が望まれる「横橋交差点」

## マナーの悪い釣り人への対策は

**問**

掘削で釣りをする人の迷惑、駐車、ゴミ等のポイ捨て、切れた釣り糸の放置、マナー注意に対し逆ギレされた等の苦情が増えている。以上の迷惑行為等の対策強化は。

**答**

生活環境課長  
現在マナーに特化した看板を作成し、設置要望を受けて設置している。また釣具販売店にマナー啓発ポスターの掲示をお願いする等、今後も根気強く努める。

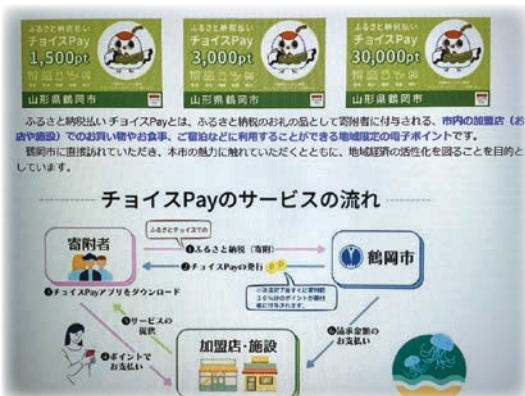
## 市内の旅館や飲食店等で利用できる「ふるさと納税感謝券」導入は

**問**

来春4月5月6月に「福岡・大分ステイネーションキャンペーン」が行われる。本市は早期に導入すべき時では。

**答**

財政課長  
本年11月に導入開始予定である。本市へのふるさと寄付金の返礼品の一つとして「地域商品券」を導入し、スマホアプリにて電子決済等ができる仕組みを構築する。



鶴岡市の「電子感謝券」の仕組み（参考）



# 市発注の事業は市内業者へ



三小田 保弘

**問** 合併時の平成17年3月の人口7万3千人、令和5年7月の人口6万2千人へと1万人以上減少している。市は人口減少を食い止め、働く場の確保のために企業誘致推進課を設け市外からの新たな誘致に取組まれていることは心強く思う。

市役所は市内の最大の企業であり、市からの発注は市内の企業にとって何にも代えがたいもので、これが生活の糧、従業員さんの給料、ひいては家族の命

の支えであり、その一部は住民税、法人税、地方消費税として還ってくる。過去の法人市民税の推移は。

**答** **税務課長**  
令和元年度約4億4千万、令和2年度約3億4千万、令和3年度約3億7千万、令和4年度約3億6千万。

**問** 令和4年度に市が発注した入札及び随意契約で市外業者に発注した件数と金額は。

**答** **総務課長**  
件数は11,413件のうち994件、金額は約76億円のうち約26億円。

**問** 市民に配布されている市報の受注業者は市内業者か。

**答** **企画課長**  
市報の落札業者は久留米市の業者。

**問** なぜ市外業者に発注されるのか。見積仕様書に下請けに出す業者は入札できないような文言があるか。

**答** **企画課長**  
短期間で校正、修正などに対応できるように下請けさせないこととしている。

**問** 市報と同じ仕様の議会だよりには市内業者が受注し、短期間で遅れもなく納期されている。一方市報は市内業者に発注されることなく、受注出来ない事を前提で見積りも出せない条件を付けるのは市内業者を軽視しているように捉えられる。検討すべきでは。

**問** 柳川市クリーンセンターの解体工事はなぜ市内業者へ発注しなかったのか。

市内業者に発注すれば、働く人も潤い、消費につながり、住民税、法人税、消費税の増収にもなり、人口減少を食い止め、市の発展にもつながる。多くの事業が予定されている、もっと市内業者の育成活用視点で取組むべきでは。

**答** **総務課長**  
市民の働く場の創設、確保は市の課題であり、本店所在地が市内にあるものをできる限り優先するとし、市民の働く場の確保に努め、人口減少の歯止、市の発展に寄与するものというふうに考えている。



市内業者に発注している議会だより







夏休み作品展

工作や自由研究など、力作がたくさん並んだ作品展、保護者の方もたくさん見に来ていただきました。



平和学習

## 柳河小学校

改めて平和の大切さを考える機会を持つための平和学習。下学年は「字のないはがき」、上学年は「戦争をやめた人たち」という本の読み聞かせを通して学習を深めました。



自分の身は自分で守る学習

柳川警察署からの講師による防犯教室。この他にも避難訓練、着衣水泳等様々な学習で「自分の身は自分で守る」という意識を高める学習を行っています。



柳川のよさを体感する学習

## 二ツ河小学校

地域の方のお力添えで、郷土学習に取り組んでいます。特に5年生は、田植えから稲刈り、餅つき、しめ縄作りを多くの地域の方とのふれあいを通して、郷土のよさを体感しています。



職業体験学習

コロナの影響で、地域での職場体験活動が実施できなかったため、今年度は福岡市にある「キッズニア福岡」で体験学習を行いました。他県や他市の中学生も混ざって活動し、貴重な学習ができました。



新入生歓迎ウォークラリー

## 昭代中学校

校区を回りながら、拾ったゴミの量を班ごとに競い合います。地域を大切にすることを育むとともに、学年を超えた縦割りのグループで活動することで多様な人間関係づくりを行う機会となりました。

## 編集後記

9月の定例会におきまして「佐賀空港へのオスプレイ等の配備後の柳川市への影響に関する調査特別委員会」が設置されました。市内で暮らす皆様の安全・安心の確保はもとより、柳川市の基幹産業の一つであります海苔養殖において、宝の海、有明海の環境保全への影響がないか、委員としてしっかり調査を行って参ります。

これから「秋芽一番摘み」海苔漁が一層忙しくなる季節です。深夜の極寒の海上で収穫を頑張る海苔漁師の皆さんの姿が目につきます。自慢の美味しい柳川の海苔を全国へ届けていただく為にも、魚の安全と豊漁を心から願っています。

(甲木 健太郎)

### 広報編集特別委員会

委員長	高田千壽輝
副委員長	今村 智子
委員	花島 正吾
〃	甲木健太郎
〃	橋本 憲之
〃	佐藤 勝広